

データベース登録事業にご協力をお願いします

当院は、下記の団体が行うデータベース登録事業に参加しています。登録される情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。また、公表される結果は、集計・分析後の情報となりますので、患者さん個人を特定可能な形で公表することは一切ありません。何卒趣旨をご理解のうえ、ご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。なお、データの提供や研究への参加をご希望されない場合には、各担当医までお知らせください。なお、登録を拒否されることで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

【NCD(National Clinical Database)】

一般社団法人 National Clinical Database (NCD) が実施するデータベース事業で、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の改善に向けた活動を行うことを目的としています。

<登録される情報> 日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等となります。

<登録する情報の管理・結果の公表>

登録される情報は、NCD 参加施設の治療成績向上ならびに皆様の健康の向上に役立てるために、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。より詳細な情報は、NCD ホームページ (<http://www.ncd.or.jp/>) をご覧ください。

【周産期登録事業および登録情報に基づく研究】

日本産科婦人科学会が実施する周産期登録事業に参加しています。この事業は、母体・胎児・分娩周辺の関連情報を匿名化し蓄積する日本で唯一最大のデータベースです。周産期医学の発展に寄与すること、また本データベースを用いて学会あるいは他の研究者から報告される新たな知見を当院における診療内容の向上や臨床研究に役立てることを目的としています。

<登録される情報> 当院で分娩されるすべての患者さんの妊娠中の経過、分娩の状況について要約したデータベースを登録します。

<情報の公開について>

最終的な結果は、年次報告として日本産科婦人科学会雑誌に毎年掲載されますので、どなたでもご覧いただけます。また、事業の参加医療機関は日本産科婦人科学会のホームページ (<http://www.jsog.or.jp/>) に概要が掲載されています。

【日本造血細胞移植データベース登録事業】

「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の第7条第2項に基づいて、一般社団法人日本造血細胞移植データセンター (JDCHCT) が実施するデータベース登録事業に参加しています。本事業は、造血細胞移植を受けた患者さん、および造血細胞を提供されたドナーの情報を収集し、集計・解析することにより、治療成績および安全性の向上を図り、患者およびドナーの福利に資するとともに、広く造血細胞移植の研究、教育、および診療の向上を図ることを目的としています。

<登録される情報> 当院で自家移植造血幹細胞移植または細胞治療を行った患者さんとドナーの臨床データと予後情報です。

<情報の公開について>

日本造血細胞移植データセンター (JDCHCT) および日本造血細胞移植学会 (JSHCT) のホームページに全国調査概要について説明するとともに、調査年度ごとの対象医療施設および全国結果が公表されます。

・日本造血細胞移植データセンター (JDCHCT) ホームページ : <http://www.jdchct.or.jp/>

・日本造血細胞移植学会 (JSHCT) ホームページ : <https://www.jshct.com/>